

キャンプ

リーダー研修

自然体験

創作活動

# 地域の体験活動を 応援します！

地域で子どもを対象にした  
体験活動がしたいけれど…

体験活動をするとき、  
安全面が心配で…

活動が最近  
マンネリ気味で…

地域の人を巻き込んで  
やりたいけれど…

PTA活動を  
考えたいのだけれど…

そうだ！  
青少年教育施設に聞いてみよう♪

青少年の家【サン・レイク】・少年自然の家

# 地域の体験活動支援事業 ～こんな活用事例があります～

## <CASE1：体験活動での安全管理について（講義・演習）>



### 参加者の声

- ・活動においては、様々な危険があり、それを意識しておくことで、ケアの仕方、危機発生時の対応などにつながる事が分かった。
- ・実地踏査や実技を行うことにより、計画の紙面では出てこない細部の問題も考えることができた。
- ・楽しい雰囲気での研修できた。課題を共有し、みんなで考えることができた。

- 海・川・山の体験活動での安全管理研修（海・川・山での危険、指導者の心得、危険な動植物、リスクマネジメント等）
- 実技指導（応急処置、救助器具の使い方等）
- 実地踏査（水底調査、監視ポイント、監視体制の確認等）
- 実施計画の見直し、助言など

## <CASE2：自然体験活動の意義と留意点について（講義・演習）>



### 参加者の声

- ・SDGsとの関係や子どもの成長とのかかわりなど、自然体験の論理的な裏付けを知ることができました。
- ・自然の中に潜む危険な動植物について、理解を深めることができました。
- ・自然やリスクマネジメントについての知識や正しい情報を持ち、スタッフで共有することの大切さを学びました。

- 自然体験活動の意義
- 自然体験活動は子どもの何を育むか
- 自然体験活動の内容
- 自然体験活動の知識
- 自然体験を行う際の留意点（指導者が大切にすべきこと）
- 自然体験活動の実際（野外での実習ならびに留意点の確認）など

# <CASE3：体験活動の意義と子どもの関わり方について（講義・演習・GW）>



## 参加者の声

- ・部員で共通理解・意識をもち、子ども達にしっかりと向き合っていきたい。
- ・マンネリ化し、ただこなすだけになっていたように思います。改めて初心に戻らなければと気づかせていただきました。
- ・グループワーク（GW）で意見を出し合うなど、一方的に話を聞くだけの研修ではなくてよかった。施設の方とも意見交換ができてよかったです。

- 体験活動の意義について考える研修
- 子どもとの関わり方と支援者の役割を考える研修・グループワーク
- コロナ禍における体験活動のあり方（感染症対策等）
- 地域における体験活動の見直しへの指導・助言
- アイスブレイク・レクリエーション など

## 令和3年度 支援事業活用実績・満足度

<b>支援事業活用実績</b>	<b>10支援</b>	申請12件 (内2件はコロナ禍により中止)
<b>ねらいに沿った内容であったか</b> (とてもよかった、おおむねよかった)	満足度 <b>100%</b>	高い評価をいただきありがとうございます。 2年、3年と連続でご活用いただいているところもあります。ぜひ、ご活用を！

## ～事業実施までの流れ～



- ・活動がマンネリ化してるな～。見直しがしたい。
- ・リスクマネジメントについて研修したい。
- ・どうしても大人が手や口を出しすぎてしまって・・・。  
どう関わればいいのかなあ。

まずは、電話で相談！！（随時受付中）

- ・困っていること、やりたいこと
- ・事前打合せ日、研修日確認
- ・今後の流れ

事業計画書<様式1>の提出

日程調整等

事前の打ち合わせ

研修当日（楽しく学びましょう！）

**この事業  
ここが使いやすい！**

1：出張費など  
費用負担なし！

2：研修内容が  
オーダーメイド！  
(研修担当者の思い  
やニーズに合わせて  
研修を行います。)

3：研修後に  
報告書などの  
提出なし！  
(アンケートにご協力ください。)



令和4年度

# 地域の体験活動支援事業 実施要項

## 1 事業目的

- 地域における教育資源を生かした体験活動の普及啓発を図る。
- 子どもたちが、地元の人や自然と深く関わり、ふるさとへの愛着や貢献意識、実行力を高めるために、公民館等が学校や地域住民などの協力を得て行う宿泊や日帰りの体験活動を支援し、地域を担う人づくり推進の一助とする。

## 2 事業対象

- 公民館、コミュニティセンター、交流センター、まちづくりセンター、コミュニティ交流センター等
- PTA活動等

## 3 事業内容

- 公民館等が学校や地域住民などの協力を得て実施する日帰りや宿泊を伴うキャンプ、通学合宿等の体験活動に対して、関わる方の支援の在り方やプログラム内容などに支援、助言等を行う。
- 公民館等の職員研修や保護者説明会などにおいて、体験活動の意義や安全管理などについて研修を行う。  
例：・事前担当者会、保護者説明会などで、体験活動の必要性や意義などについて話す。  
・体験プログラムなどの相談に応じる。  
・振り返りの会などへ出席し、次年度へ向けての助言をする。等

## 4 実施方法

- リーフレットを県内の公民館等、小学校に配付します。
- 県内を2ブロックに分け、東部・隠岐地区は青少年の家、西部地区は少年自然の家が担当します。
- 各施設からの出張支援として行います。但し、施設運営に支障のないところでの支援となります。
- 支援にあたっては、各地域の行政担当者、公民館等担当者に連絡し、内容によっては連携しながら実施していきます。
- 各施設からの出張等に関して、公民館等の費用負担はありません。
- 研修後に報告書などの提出はありません。アンケートにご協力ください。

## 5 お申し込み

- 通年で随時受け付けています。まずは、各施設に直接電話でお問い合わせください。
- その後、事業計画書<様式1>を提出してください。事業計画書は各施設ホームページからダウンロードできます。
- 事業計画書を元に、内容や事前打ち合わせ、研修日などについて担当者の方と相談しながら進めます。
- 支援時期(施設繁忙期)によっては対応ができない場合があります。その場合は、日程等調整をさせていただく場合があります。

## お申し込み・お問い合わせ

島根県立青少年の家サン・レイク  
〒691-0074 出雲市小境町1991-2  
TEL : 0853-69-1316 FAX : 0853-69-1016  
Mail : sunlake@pref.shimane.lg.jp

島根県立少年自然の家  
〒695-0007 江津市松川町太田610  
TEL : 0855-52-0716 FAX : 0855-52-0707  
Mail : syonen@pref.shimane.lg.jp